

～（野洲川放水路通水40周年記念）～

を開催しました

古くより野洲川は人々に多くの恩恵をもたらしましたが、一方で洪水により人々を苦しめる存在でもありました。昭和28年の台風災害をきっかけに『野洲川放水路事業』が実施され、昭和54年6月2日に通水が開始されてから40年が経過しました。

野洲川放水路の建設によって野洲川は治水安全度が向上しましたが、近年、痛ましい自然災害が全国各地で頻発している状況です。通水から40年の節目にあたって、住民の方々が野洲川の歴史を改めて振り返り、今一度防災について考え、災害に備える機会にするため、『いのちを守る自主防災シンポジウム』を開催しました。



●日 時：令和元年9月15日（日）11:00～17:00 ●場 所：守山市民ホール 大ホール他

●参加人数：約1,100人

●主 催：野洲川地域安全協議会、野洲川改修促進協議会、いのちを守る自主防災シンポジウム実行委員会（草津市、野洲市、栗東市、湖南市、甲賀市、近江八幡市、守山市、気象庁彦根地方気象台、滋賀県、国土交通省近畿地方整備局）、一般財団法人自治総合センター

開会式



主なプログラム



野洲川改修に翻弄された地域住民の姿を、改修から通水まで紙芝居で紹介



表彰者：野洲川改修中洲地区対策委員会 前委員長 津田義郎様



「いつ、どこへ逃げればよいのか～近年の豪雨災害に学ぶ最新避難術～」



栗東市立葉山小学校 山口敏生先生



野洲市立北野小学校 5年生児童



テーマ「野洲川の恵みと水災害を想定した安全なまちづくり」



野洲川博士(堀田 琵琶湖河川事務所長)による防災クイズ



近江むかで太鼓保存会



立命館守山中学校・高等学校



野洲川改修促進協議会 会長 山仲善彰 野洲市長

参加者の感想

- 野洲川の歴史や、先人がこれまで苦労されてきた内容を知ることができて良い経験になった。
- 具体的な災害対策を知れてとても良かった。これを機会にもっと防災について取り組みたいと思った。
- 紙芝居が大変わかりやすかった。また、小学校の防災学習が大変すばらしかった。
- 我が家の「避難スイッチ」について調査しようと思った。

防災体験コーナー

災害対策車体験
防災服で記念撮影
ゆるキャラ大集合
地域活動PR展示
野洲川今昔写真パネル展示



【問合せ先】 国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所 調査課
〒520-2279 大津市黒津4-5-1 ☎077-546-0844 (代表)

